

徳島大学 インターナショナルオフィス ニュース

No. 37
2022.02

2021年後期 海外研修プログラム

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、本学の方針に基づいて、2020年度より現地で学ぶ海外短期留学プログラムは中止し、オンラインでの海外研修（留学）プログラムを実施しています。

今年度の夏休みは、アメリカの南イリノイ大学（SIU）と連携した英語・アメリカ文化プログラム（4週間）、台湾の淡江大学と連携した中国語・台湾文化プログラム（3週間）、韓国の慶北大学と連携した韓国語・韓国文化プログラム（2週間）の3つを実施しました。プログラムでは、外国語の習得だけでなく、異文化理解を目的とした交流や文化紹介なども実施しました。また、英語に苦手意識のある学生も気軽に参加できるように、インターナショナルオフィス教員による英語サポート授業もプログラム中に実施しました。

2021年度春休みにも、SIUと連携した同様のプログラムを行います。参加費用の半額程度に相当する支援金（返済不要）に申請できるので、経済的にも受講しやすくなっています。詳しくはインターナショナルオフィスまでお問合せください。

中国語・台湾文化研修 淡江大学（台湾）

様々な角度から中国語を学ぶことができましたが、一番楽しかったのはゲームの授業です。単語に関連した文を考えながら学べて、とても楽しかったです。ただ語学を学ぶというのではなく、その土地の文化や歴史を学ぶ必要があるということが分かりました。台湾にはおいしい食べ物や買いたい物がたくさんあると知ったので、実際に台湾に行って体験してみたいです。これからも中国語の勉強を続け、中国語検定の取得を目標に取り組んでいきたいと思っています。

総合科学部社会総合科学科 K. C.

英語・文化研修 南イリノイ大学（米国）

この度、3回目の南イリノイ大学（SIU）オンライン留学プログラムを修了しました。毎回学習内容が異なるため、幅広い知識が得られ新鮮な気持ちで取り組むことができます。初めて受講した頃に比べて、英語を話すことに不安がなくなり、かなりスムーズにコミュニケーションがとれるようになってきました。様々な人と接し、学習を積み重ね、時には失敗や困難を経験することは、確実に自信や成果に繋がっていると実感しています。

総合科学部社会総合科学科 K. C.

韓国語・文化研修 慶北大学（韓国）

文化交流では、食べ物、K-popや韓国ドラマなどについて学びました。知らないことが多く、以前よりも韓国の文化に詳しくなりました。特に、バーチャルホームステイでは、街並みや、家の様子を見ることができ、韓国に行った気分になることができました。韓国語を全く勉強したことがなく、とても不安でしたが、教え方が分かりやすく、ゆっくり何度も復習をしてもらえたため、しっかり韓国語を身に付けることができました。今後も韓国語の勉強を続けたいです。

生物産業資源学部生物資源産業学科 N. W.

グローバルパーソン集中プログラム（GRIP）

全学的なグローバル人材育成を目的として、インターナショナルオフィスは今年度から「グローバルパーソン集中プログラム（GRIP, Global Person Resources Intensive Program）」を開始し、前期（第1期生：14名）に3か月間、後期（第2期生：14名）に5か月間実施しています。このプログラムは、自国および他国の文化・歴史を理解し、外国語による高いコミュニケーション能力を持って、多様な人と協働できる「グローバルパーソン」の育成を目的としています。学生たちが学部を超えてお互いに学び合い、英語集中講座で英語力を上げるとともに、地域の高校生や市民とともに英語で地域の文化を学んだり、海外大学の学生とのオンラインでの協働学習をしたりします。また、アメリカ・南イリノイ大学（SIU）と共同で開発する4週間オンライン留学への参加、およびインターナショナルオフィスの英語集中講座に参加して、英語力および異文化理解を高めていきます。

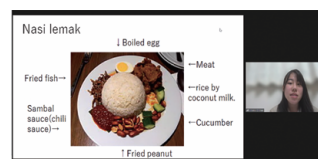
GRIP参加者の感想です。
もっと知りたい方は、裏面の連絡先にコンタクト！

自分の目標はTOEIC 100点 upだったので、達成率100%です。また、英語学習を継続的にすること、英会話の上達もこの夏の目標だったので、できて良かったです。海外の大学院も視野に入れているので、いざ行きたいとなったときにできるように継続的な英語学習をしたいと思っています。単語力も必要だということを知ることによって各国の英語を理解する糸口にもなると思いました。

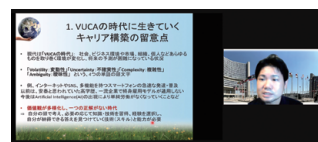
理工学部理工学科 I. S.

私がGRIP開始前に立てた目標は英語によるコミュニケーション力を伸ばすこと、地域について知ることでしたが、どちらも達成できたと感じています。コミュニケーション力では特に、英語を使うことにためらいがなくなり、上手に話せなくても自分の言葉で伝えようとする姿勢が身についたと思います。また、今回のプログラムでは常に他の学生から良い刺激を受けました。英語学習への高いモチベーションや英語を使って働くという将来の夢をもつ学生の話聞いて、自分の将来について改めて考える良い機会になりました。

医学部医科栄養学科 Y. K.



マレーシアの大学との協働学習



徳島大学卒業生による特別講演



インターナショナルオフィス 最近の主な活動

渡日前入学許可制度・日本留学フェア

2022年度および2023年度の「渡日前入学許可制度による私費外国人留学生選抜」(Ⅱ型(日本語等予備教育なし)、Ⅰ型(日本語等予備教育あり))については、新型コロナウイルス感染症の影響で本学の教職員が現地に渡航できない状況の中、本学の卒業留学生同窓会と連携しながら、一次選考および二次選考を実施しました。韓国の時事日本語学院からの応募者は4名で全員が理工学部希望でした。選考の結果3名が合格し、2022年4月、本学に入学する予定となっています。

2021年度JASSO主催の日本留学オンラインフェア(8月29日、9月4日)に参加しました。国内・海外からの参加者225名に対して、パワーポイント、動画、Q&Aなどの資料による大学紹介を行いました。質問はチャット形式で受付、奨学金、住居、授業料などに関する質問に答えました。

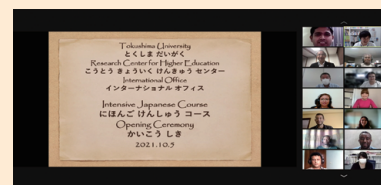
また、11月5日、大阪大学日本語日本文化教育センター主催の国費学部留学生への大学進学説明会(オンライン)に参加し、本学の会場に来院した18名に対して、二つのグループに分けて本学の紹介および質問対応などを行いました。

日本語教育

2021年度後期では、日本語研修コース(集中型)の初級レベル1クラスと総合日本語(週2回)6クラスを開講しました。新型コロナウイルス感染症の影響により、全てのクラスをオンラインで行っています。日本語研修コースには国費留学生を含む11名が参加し、現在9名が自分の国から受講しています。インド、エチオピア、モロッコなど世界各地から学生たちが参加しており、時差の問題もありますが非常に熱心に日本語を学んでいます。

総合日本語では中級の4レベル4クラスを、初級レベルでは1レベル2クラスを開講しています。今期は初めて本学海外学術協定校の学生16名も参加しており、海外から本学の学生とともに日本語を学習しています。

初級レベルの語彙、慣用表現、文法、問題集およびディクテーションのオンラインの学習教材を作成し、現在授業で活用しています。今後、対面での授業が始まって海外協定校向けに、また反転授業を行う際に使用できるよう、改善と充実を図っていきます。



日本語研修コース開講式の様子



日本語学習のためのサイト

留学生のための就職支援

10月8日に開催した第4回留学生のための就職支援セミナー「卒業生の就活体験を聞こう」では、本学からの卒業生3名、四国大学で学ぶ留学生1名にそれぞれの就活体験について語ってもらいました。県内の高等教育機関から10名の留学生が参加し、熱心に耳を傾けていました。

続く第5回のセミナー「面接対策とビジネスマナー」(10月27日開催)では、昨年同様、Office Lale(ラーレ)の嶋田由紀子氏を講演者として招き、面接に必要なビジネスマナーを中心に解説をしていただきました。参加した留学生はお辞儀や名刺交換の方法について熱心に学んでいました。11月18日に開催した第6回セミナー「ジョブフェア&交流会」では、県内企業4社(有限会社高木建設、株式会社阿部鐵工所、天満病院グループ、喜多機械産業株式会社)にご参加いただき、各社の事業紹介および各企業との交流会を行いました。対面で行ったこともあり、非常に活発なイベントとなりました。

12月15日の第7回セミナー「就労ビザについて学ぼう」では、株式会社オリジネーターの須藤歩氏に、就労ビザの種類と取得に関する注意点、最近の就職に関する動向などについて説明をしていただきました。参加した留学生からは「とても参考になった」などの感想がありました。1月21日の「日本企業バスツアー」では、事前に作成した企業紹介動画とライブでのインタビューを、県内高等教育機関で学ぶ留学生に対しオンラインで配信しました。今後も留学生の就職支援を積極的に展開していきます。



ジョブフェア&交流会の様子

留学生のためのストレス対策セミナー、消防訓練

2021年7月16日に、留学生のためのストレス対策セミナー「アサーション・トレーニング」をオンラインで開催し、外国人留学生14人が参加しました。キャンパスライフ健康支援センターの井ノ崎敦子先生を講師に迎え、「アサーティブコミュニケーション」などについて講演していただきました。続く10月25日には、第2回目のストレス対策セミナー「心の健康を保つ人間関係」をオンラインで開催し、参加した留学生6人が、人に頼ることや良い人間関係を維持する方法などを学びました。

また、11月10日、留学生の防火に関する意識や消防対策スキルの向上を目的として消防訓練を実施しました。留学生宿舎に入居している留学生8人と今後入国予定の留学生8人が参加しました。徳島市消防局の講師から火事に関する事情、119番への通報方法、火事の予防方法や消火器の使い方などを学びました。



消防訓練の様子

留学生への生活指導

2021年度後期に新しく本学に入学した留学生に対しガイダンスを実施しました。前期同様、今回も新型コロナウイルス対策のためオンラインで個別に実施しました。10月15日には5名、10月25日には1名、11月30日には2名、12月21日には2名の留学生に対し、生活上の注意点(交通ルールの違い、ビザの更新・変更、アルバイトを行う際の注意点など)について説明を行いました。

